

整備局からの情報提供

- ①水災害リスクコミュニケーションポータルサイト
- ②ハザードマップ、マイ・タイムライン等
- ③要配慮者利用施設の避難確保計画
- ④川の防災情報のシステムアップデート
- ⑤ワンコイン浸水センサ実証実験

①水災害リスクコミュニケーションポータルサイト

- 水災害リスクコミュニケーションの取組の一環として、どんな水災害リスク情報があるのか、どのように使えばよいかなどの情報を一元的に集約した「水災害リスクコミュニケーションポータルサイト」を開設し、令和6年度より運用開始。
- 情報発信を通じ、民間企業や行政機関などが、自らの水災害リスクをしっかりと確認し、平時から主体的な減災行動を取ることを促進。

■ 水災害リスクコミュニケーションポータルサイト

https://www.mlit.go.jp/river/risk_communication/index.html

ポータルサイトでは、知りたい事項ごとに情報の使い方などを紹介

例えば「氾濫時の家屋の倒壊、流出のリスクのある場所を知りたい」では、..



リスク情報の解説の例

○ 重ねるハザードマップにおいて、「家屋の倒壊、流出のリスクのある場所」を確認する方法、リスク情報の解説。

○ これらの他に「浸水の範囲や深さ」、「地点別・時間別の詳しい浸水情報」等のリスク情報を確認する方法も紹介。

【水災害リスクコミュニケーションとは】

近年、気候変動の影響による水災害が激甚化・頻発化中、平時からあらゆる関係者が水災害リスクに関する情報を共有し、意思疎通・相互理解を図ることにより、水災害リスクを減少・分散・回避するための行動を促すこと。



サイト内のページ例（水害リスク情報の種類）

②ハザードマップ、マイ・タイムライン等

【概要】

- ・ 居住地域をまるごとハザードマップと見立て、生活空間である“まちなか”に水防災にかかわる各種情報（想定浸水深や避難所の情報等）を標示する
- ・ 市区町村が作成、公表する洪水ハザードマップの情報の更なる周知を図るため実施

【期待される効果】

- ・ 自らが生活する地域の洪水の危険性を実感できる
- ・ 危機意識の醸成と洪水時避難所等の認知度の向上が図られる
- ・ 洪水ハザードマップの更なる普及推進が図られる

【設置状況】

- ・ ハザードマップ作成対象自治体1,543のうち505市区町村（約33%）が設置（R6年9月時点）

【普及に向けた支援】

- ・ 防災・安全交付金による補助金制度が適用可能
- ・ まるごとまちごとハザードマップ取組事例集を改定（令和6年4月）

<取組事例>



電柱に浸水想定深や
避難所の情報等を標示

【洪水関連図記号の例】



- 避難所（建物）
災害時の避難先となる安全な建物を示す。



- 洪水
当該地域が洪水の影響を受ける可能性がある地域であることを示す。

〔出典：まるごとまちごとハザードマップ実施の手引き〕

《まるごとまちごとハザードマップの高度化の取組》



■ 二次元バーコードによる防災情報の取得

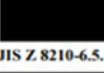
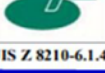


浸水深が一目でわかるように工夫し、設置後も浸水リスクをより多くの住民に理解してもらうとともに、二次元バーコードにより自治体の防災情報サイトに接続が可能とする試行取組

- 令和6年8月にJIS Z 8210に洪水/内水の注意図記号が登録され、今年度中に JIS Z 9098 の改定が予定されている。
- JIS Z 9098 改定に併せて、「まるごとまちごとハザードマップ実施の手引き」も改定する予定。
(主な改定内容)
 - ・洪水/内水の一般図記号の変更、注意図記号の追加
 - ・高潮の注意図記号の追加
 - ・津波の一般図記号、注意図記号の追加

まるまち手引き(現行)

JIS Z 8210 現行

災害種別	図記号				避難誘導標識システム
	災害種別一般図記号	注意図記号	避難場所図記号	避難所図記号	
洪水		—			附属書 A
内水氾濫		—			附属書 B
高潮		—			附属書 C ^①
津波 ^②					JIS Z 9097
土石流					附属書 D

まるまち手引き(改定案)

JIS Z 8210 追補1 (R6.8.20)

災害種別	図記号				避難誘導標識システム
	災害種別一般図記号	注意図記号	避難場所図記号	避難所図記号	
洪水					附属書 A
内水氾濫					附属書 B
高潮					附属書 C ^①
津波 ^②					JIS Z 9098 に統合
土石流					附属書 D



国土交通省が実施するマイ・タイムラインの取組支援

○国土交通省では、マイ・タイムライン普及の取組を支援するため、「かんたん検討ガイド」の作成や防災教育のほか、防災・安全交付金による財政支援を行っており、引き続き、市町村によるマイ・タイムライン普及の取組を促進していく。

■防災教育

地域と連携しながら、マイ・タイムラインの作成や防災教育を通じて防災意識の向上を促進



小学生を対象とした防災教育
(新潟県長岡市)



要配慮者のマイ・タイムライン
作成中の様子(岡山県倉敷市)

■ファシリテーターの育成

マイ・タイムラインを普及させるため、気象キャスター、防災士、消防団、水防団等に対して、ワークショップ等のファシリテーターを育成する講習会を開催



日本防災士機構・日本防災士会と
連携した研修会 R6.2.17

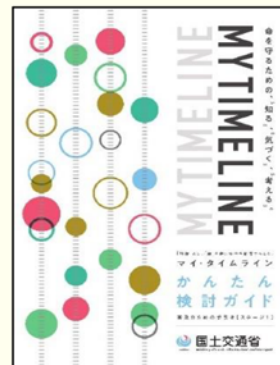


気象キャスターを対象とした講習会
(埼玉県春日部市) R6.5.11

■マイ・タイムライン作成支援ツール

実施方法などを取りまとめた「かんたん検討ガイド」や、ワークショップの開催の手引き等を公表

全国でのマイ・タイムライン取組事例を取りまとめ、国交省のWEBサイトに公開



マイ・タイムラインかんたん検討ガイド 地域におけるマイ・タイムライン取組事例集

支援の取組を実施している市町村数：(R6年9月末)
全国： 896/1,543 市町村

■防災・安全交付金による財政支援

河川事業(ハード整備)と一体となってその効果を一層高めるために必要な事業として、効果促進事業により、マイ・タイムライン普及に向けた取組を支援(補助率1/2)

ハザードマップのユニバーサルデザイン化

- ハザードマップは住民の避難に役立つことが期待されている一方、情報の理解には一定のハードルがあり、例えば視覚障害者などに対応していないなど、情報へのアクセスが困難な場合がある。
- このような課題を踏まえ、全ての人が避難行動に必要な情報にアクセスできるように「重ねるハザードマップ」を改良するなど、ハザードマップのユニバーサルデザイン化を推進。

ハザードマップのユニバーサルデザインに関する検討会

<開催状況>

開催日	会議名等
令和4年12月23日	第1回検討会
令和4年 3月11日	第2回検討会
令和4年 5月23日	第1回ワーキング会議
令和4年 7月22日	第3回検討会
令和4年11月29日	第4回検討会
令和4年12月20日	第2回ワーキング会議
令和5年 3月17日	第5回検討会



- 学識者のほか、視覚障害当事者が委員として参加。
- 内閣府、消防庁、厚労省と連携。
- ワーキング会議を開催し、視覚障害当事者や特別支援学校の先生等が参加。

重ねるハザードマップの改良

- アイコンや地図上をクリックしなくても住所を入力する、または現在地を検索するだけで、その地点の自然災害の危険性が自動的に文章で表示される機能を追加
- 視覚障害者を含め誰にでも分かるハザードマップへと改良し、全国の災害危険度情報が容易に把握可能に

(令和5年5月30日に運用開始)

トップページの改良

文章による災害リスクの説明



ハザードマップのユニバーサルデザインに関する検討会の目的と内容

- 浸水深
- 浸水継続時間
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 指定緊急避難場所等
- 土砂災害警戒区域
- 避難経路

水害ハザードマップで提供する情報

わかる

- 利用者の理解につながるための情報の整理、抽出、変換
- 参照情報や補足情報の整理等

伝わる

- 利用者の特性に応じた提供方法の整理（音声、点字、デジタルツール等）
- リスクコミュニケーションのあり方等

的確な避難行動

- マイ・タイムラインの取組
- 個別避難計画の作成と避難支援体制の整備
- 地域防災力の向上

ハザードマップのユニバーサルデザイン化

水害ハザードマップ作成の手引き改定

水害ハザードマップ作成の手引き

令和5年5月

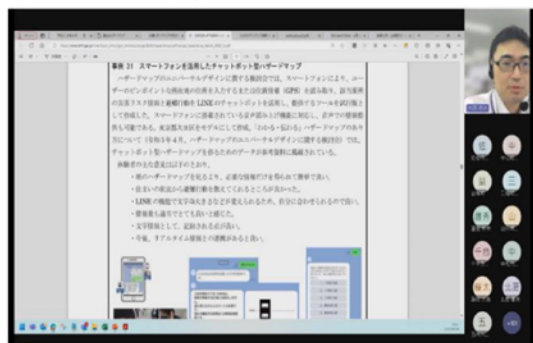
国土交通省水管理・国土保全局
河川環境課水防企画室

- 『ハザードマップのユニバーサルデザインに関する検討会』の検討結果を踏まえ手引きを改定（令和5年5月：第5章を追加）

- 5.1 あらゆる主体に「わかる・伝わる」ハザードマップ
- 5.2 あらゆる主体が理解できるハザードマップの実現
- 5.3 あらゆる主体がアクセスできるハザードマップの実現
- 5.4 「わかる・伝わる」ハザードマップを公開するためのウェブサイトの姿

水害ハザードマップ作成について説明会開催

説明会(Web)開催状況

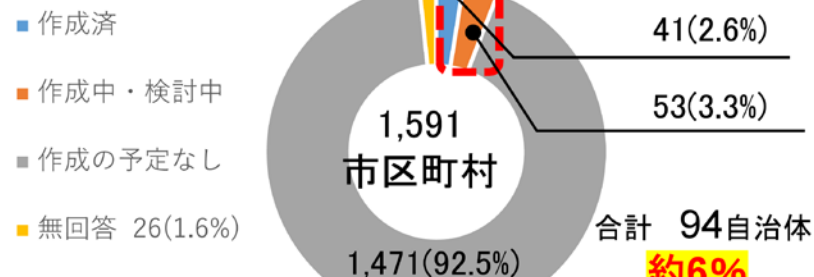


- 全国市区町村の担当者向けに『水害ハザードマップ作成に関する説明会』を開催（令和5年10月、令和6年6月）
- ハザードマップのユニバーサルデザイン化の必要性および具体事例について周知

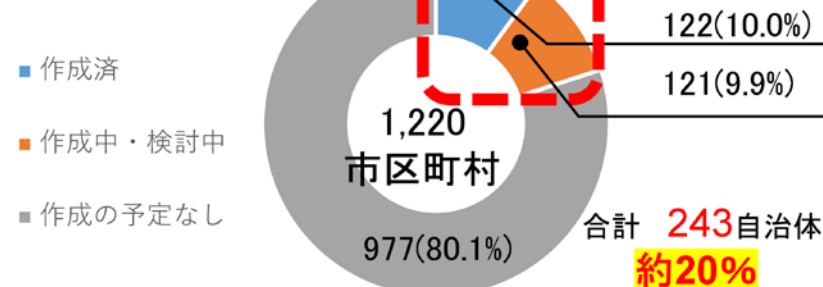
障害に対応したハザードマップの自治体アンケート

- 自治体アンケート調査結果（令和3年度、令和6年度）。
- 令和6年度、アンケートの回答があった1,220自治体のうち、障害に対応したハザードマップを作成した自治体数は**122市区町村**となり、作成中・検討中を含めると**243市区町村**となった。
- 【作成、作成中・検討中】の割合が、令和3年度の**約6%**に対し、令和6年度は、**約20%**と増加している傾向。

令和3年度



令和6年度

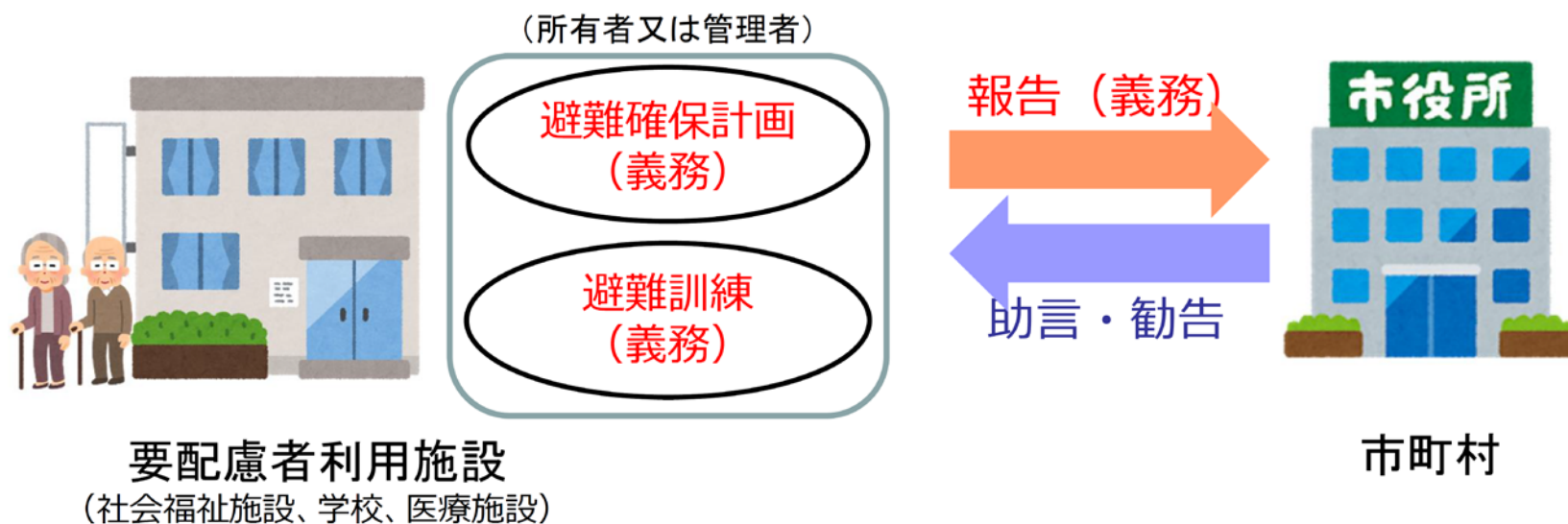


③要配慮者利用施設の避難確保計画

要配慮者利用施設における避難確保の制度

- 市町村の地域防災計画に位置づけられた高齢者施設等の要配慮者利用施設は、
 - ・ **避難確保計画を作成し、市町村長に報告すること**
 - ・ **訓練を実施し、その結果を市町村長に報告すること**が義務づけられます。
- また、避難確保計画や訓練結果の報告を受けた市町村長は、施設管理者等に対して助言・勧告することができます。

【水防法、土砂災害防止法、津波防災地域づくり法】



※避難確保計画は、「非常災害対策計画」、「消防計画」、「学校の危機管理マニュアル」と一体的に作成することもできます

水防法等に基づく要配慮者利用施設における取組状況

令和6年9月末時点

区分	対象施設 ※1	計画作成済み ※2	避難訓練の実施 (令和5年度内に実施) ※3
洪水	126,174	111,393	48,569 [※]
雨水出水	3,709	2,222	819 [※]
高潮	27,293	20,842	7,541 [※]
津波	11,477	8,511	4,027 [※]
土砂災害	22,596	20,033	9,603 [※]

(※：令和6年3月31日時点)

※1: 水防法、津波防災地域づくりに関する法律、及び土砂災害防止法に基づき、浸水想定区域（洪水・雨水出水・高潮）、津波災害警戒区域（津波）、及び土砂災害警戒区域（土砂災害）に所在し、市町村地域防災計画に位置づけられている要配慮者利用施設の数

※2: 対象施設（※1）のうち、避難確保計画を作成した施設の数

※3: 対象施設（※1）のうち、避難確保計画に基づく避難訓練を令和5年度内に実施した施設の数（令和6年3月31日時点）

要配慮者利用施設の避難確保計画について

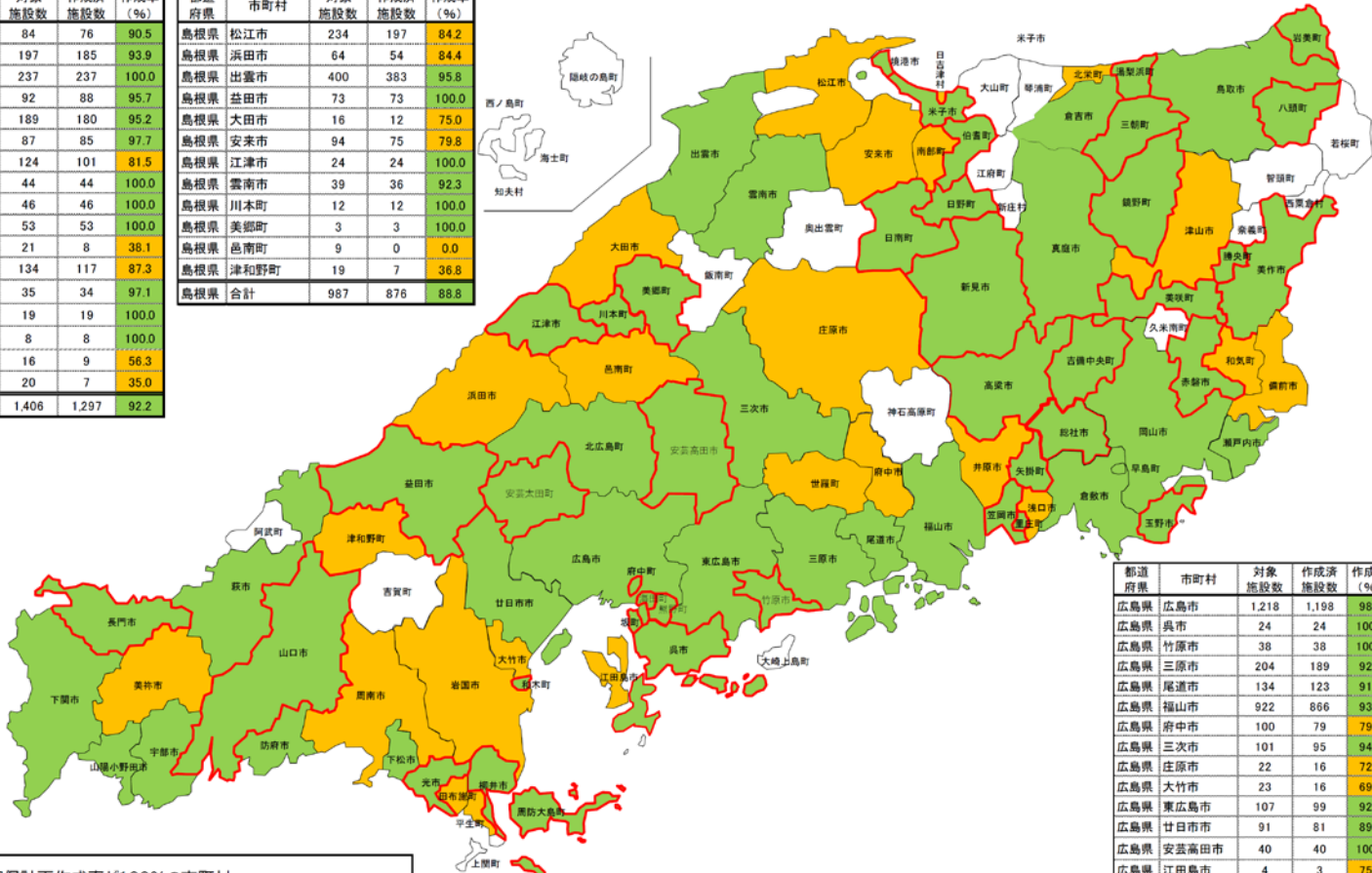
水防法15条の3

- 緊急行動計画での取組（R3年度末までに対象の全施設における避難確保計画の作成を完了）
 - ✓ 作成状況、訓練の実施状況を減災対策協議会等で共有し、推進を図る。（見える化）
 - ✓ 避難確保計画作成や訓練についてのポイントをまとめた作成支援資料、動画等を市町村へ提供。

■ 中国地方の作成状況
(R6.9.30時点)
・避難確保計画作成率は91.3%
(全国88.3% 令和6年9月30日現在)
・中国地方平均では全国平均とほぼ同じ
・自治体ベースでは作成率に大きな差がある。

都道府県	市町村	対象施設数	作成済施設数	作成率(%)
山口県	下関市	84	76	90.5
山口県	宇部市	197	185	93.9
山口県	山口市	237	237	100.0
山口県	萩市	92	88	95.7
山口県	防府市	189	180	95.2
山口県	下松市	87	85	97.7
山口県	岩国市	124	101	81.5
山口県	光市	44	44	100.0
山口県	長門市	46	46	100.0
山口県	柳井市	53	53	100.0
山口県	美祿市	21	8	38.1
山口県	周南市	134	117	87.3
山口県	山陽小野田市	35	34	97.1
山口県	周防大島町	19	19	100.0
山口県	和木町	8	8	100.0
山口県	田布施町	16	9	56.3
山口県	平生町	20	7	35.0
山口県	合計	1,406	1,297	92.2

都道府県	市町村	対象施設数	作成済施設数	作成率(%)
鳥根県	松江市	234	197	84.2
鳥根県	浜田市	64	54	84.4
鳥根県	出雲市	400	383	95.8
鳥根県	益田市	73	73	100.0
鳥根県	大田市	16	12	75.0
鳥根県	安来市	94	75	79.8
鳥根県	江津市	24	24	100.0
鳥根県	雲南市	39	36	92.3
鳥根県	川木町	12	12	100.0
鳥根県	美郷町	3	3	100.0
鳥根県	邑南町	9	0	0.0
鳥根県	津和野町	19	7	36.8
鳥根県	合計	987	876	88.8



- 避難確保計画作成率が100%の市町村
- 避難確保計画作成率が全国平均以上の市町村
- 避難確保計画作成率が全国平均未満の市町村
- 市町村地域防災計画へ要配慮者施設の位置づけのない市町村

	対象施設数	作成済施設数	作成率(%)
全国合計(R6.9月末時点)	126,174	111,393	88.3
中国地方合計	10,123	9,242	91.3

都道府県	市町村	対象施設数	作成済施設数	作成率(%)
鳥根県	鳥取市	198	197	99.5
鳥根県	米子市	225	225	100.0
鳥根県	倉吉市	157	156	99.4
鳥根県	境港市	2	2	100.0
鳥根県	岩美町	3	3	100.0
鳥根県	八頭町	7	7	100.0
鳥根県	三朝町	5	5	100.0
鳥根県	湯梨浜町	32	32	100.0
鳥根県	北栄町	20	0	0.0
鳥根県	日吉津村	9	2	22.2
鳥根県	南部町	6	3	50.0
鳥根県	伯耆町	8	8	100.0
鳥根県	日南町	8	8	100.0
鳥根県	日野町	5	5	100.0
鳥根県	合計	685	653	95.3

都道府県	市町村	対象施設数	作成済施設数	作成率(%)
岡山県	岡山市	2,113	1,907	90.3
岡山県	倉敷市	1,023	930	90.9
岡山県	津山市	164	87	53.0
岡山県	玉野市	9	9	100.0
岡山県	笠岡市	5	5	100.0
岡山県	井原市	94	47	50.0
岡山県	総社市	97	97	100.0
岡山県	高梁市	37	37	100.0
岡山県	新見市	15	15	100.0
岡山県	備前市	17	12	70.6
岡山県	瀬戸内市	65	63	96.9
岡山県	赤松市	23	23	100.0
岡山県	真庭市	20	19	95.0
岡山県	美作市	35	35	100.0
岡山県	浅口市	23	16	69.6
岡山県	和気町	35	22	62.9
岡山県	早島町	8	7	87.5
岡山県	里庄町	2	2	100.0
岡山県	矢掛町	7	7	100.0
岡山県	鏡野町	15	15	100.0
岡山県	勝央町	7	7	100.0
岡山県	美咲町	8	8	100.0
岡山県	吉備中央町	1	1	100.0
岡山県	合計	3,823	3,371	88.2

都道府県	市町村	対象施設数	作成済施設数	作成率(%)
広島県	広島市	1,218	1,198	98.4
広島県	呉市	24	24	100.0
広島県	竹原市	38	38	100.0
広島県	三原市	204	189	92.6
広島県	尾道市	134	123	91.8
広島県	福山市	922	866	93.9
広島県	府中市	100	79	79.0
広島県	三次市	101	95	94.1
広島県	庄原市	22	16	72.7
広島県	大竹市	23	16	69.6
広島県	東広島市	107	99	92.5
広島県	廿日市市	91	81	89.0
広島県	安芸高田市	40	40	100.0
広島県	江田島市	4	3	75.0
広島県	府中市	60	60	100.0
広島県	海田町	31	31	100.0
広島県	熊野町	4	4	100.0
広島県	坂町	2	2	100.0
広島県	安芸太田町	21	21	100.0
広島県	北広島町	58	54	93.1
広島県	世羅町	18	6	33.3
広島県	合計	3,222	3,045	94.5

④川の防災情報のシステムアップデート

【はじめに】

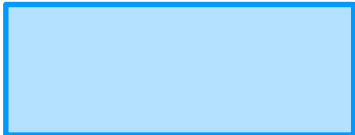
川の防災情報は、令和2年度に構築して以降、約5年程度が経過し、サーバ機器の老朽化対策、セキュリティ対策を講じ、引き続き、安定的に河川情報を提供するため、「R6-10河川情報サービス提供業務」にて、新しい川の防災情報を構築する予定です（令和7年3月17日）。

次期出水期までに、河川管理者に、新しい川の防災情報を使いこなしていただく必要があることから、機能改良点等についてまとめています。

各地方整備局等で実施される洪水対応演習等の際、積極的に活用いただき、実際の出水対応に備えていただきますようお願いいたします。

また、大規模氾濫減災協議会、流域治水協議会、放流連絡会などの際にご活用いただき、自治体、利水ダムの管理者等に、情報提供いただきますようお願いいたします。

以降のページでは、以下の凡例のとおり整理しています。

凡例	
	旧「川の防災情報」での表示方法等
	新「川の防災情報」での改善点等

コンテンツの改善

- ① 河川カメラの過去画像表示機能
- ② 履歴動画表示機能

UI・操作性の改善

- ① 危機管理型水位計の表示タイミング
- ② 主要河川名称の常時表示
- ③ 危機管理型水位計の表示名称の変更
- ④ 前回アクセス時の設定を次回アクセス時に保持する機能
- ⑤ 登録可能地点数の増加(3か所⇒5か所)
- ⑥ 情報の種類から選択するアイコンの見やすさの改善
- ⑦ 他の関連サイトを選択するアイコンの見やすさの改善
- ⑧ 水位観測所画面の見やすさの改善(拡大)
- ⑨ スマホ画面のアイコンの分かりやすさの改善
- ⑩ 地図アイコン表示タイミング設定
- ⑪ 観測所ごとのお知らせ表示改善
- ⑫ 観測所詳細画面から地図画面への画面遷移の追加

コンテンツの改善

①河川カメラの過去画像表示機能及び②履歴動画表示機能

過去の日付（時刻）を設定しても、現在の時刻の画像が表示される仕様にしていた。



現況と平常時の静止画像を表示

カメラ以外は過去の情報が表示されるが、カメラは現在の画像が表示されるため、利用者に誤解を与える可能性がある。

過去の日付（時刻）を設定すると、その日付の画像を表示することができる。

※ただし、遡ることができるのは3日前まで。

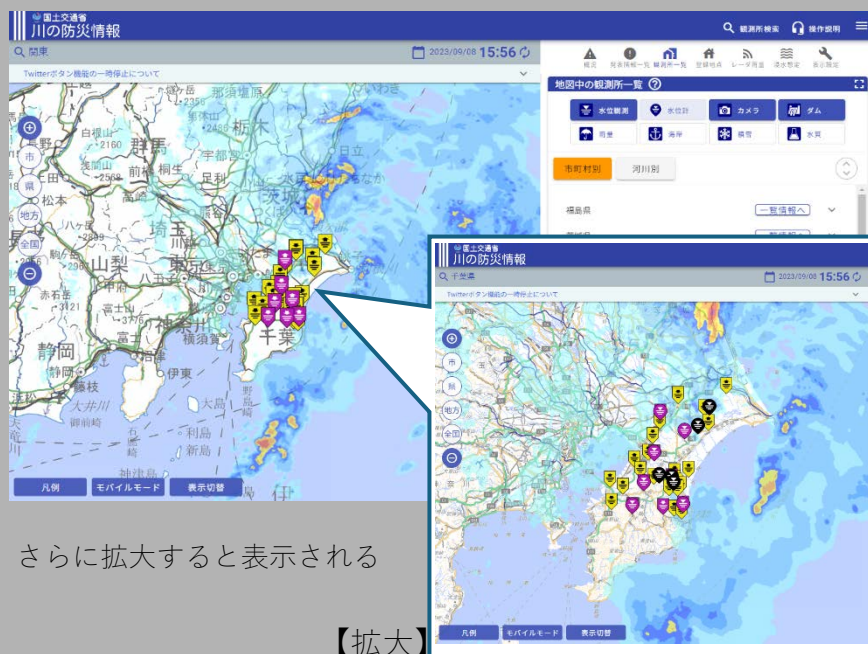


現在までの履歴動画を表示する機能を追加（1時間程度）

UI・操作性の改善

①危機管理型水位計の表示のタイミング

これまでは、普通的水位計が表示される縮尺では、危機管理型水位計は表示されなかった。



普通的水位計と同じタイミングで危機管理型水位計が表示されるように改善し、見落としを防ぐことができる。

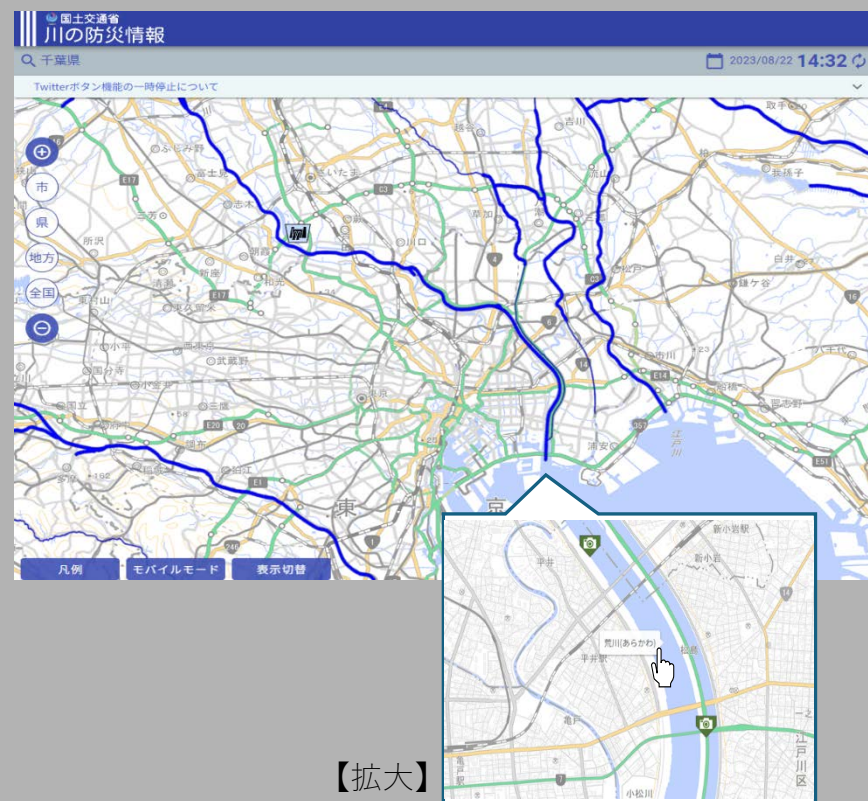


画面の拡大/縮小時に、普通的水位計と危機管理型水位計を同じタイミングで表示することができる。

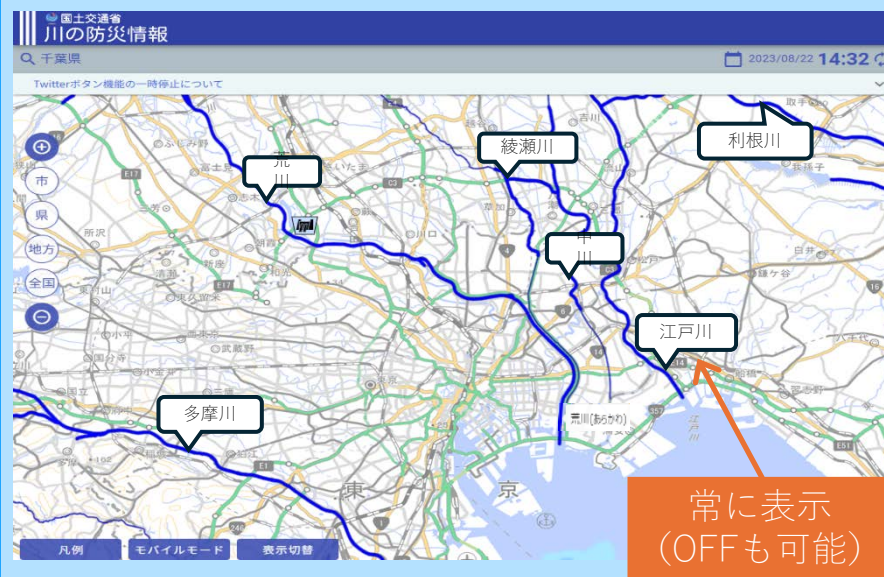
UI・操作性の改善

②主要河川名称の常時表示

これまでは、画面を拡大し、マウス（カーソル）を合わせたときに河川の名称が表示される仕様であった。



主要河川の名称は画面の縮尺等にかかわらず、常に表示されるよう改善した。



画面に表示されている地図内の河川名を表示する。
移動すると表示範囲も移動する。

UI・操作性の改善

③危機管理型水位計の表示名称の変更

これまでは、危機管理型水位計と普通的水位計の区別なく、単に「水位計」とのみ表示されていた。



ボタン名、凡例や観測所名を「危機管理型水位計」と表示するように改善した。



表示名称統一

表示名称統一

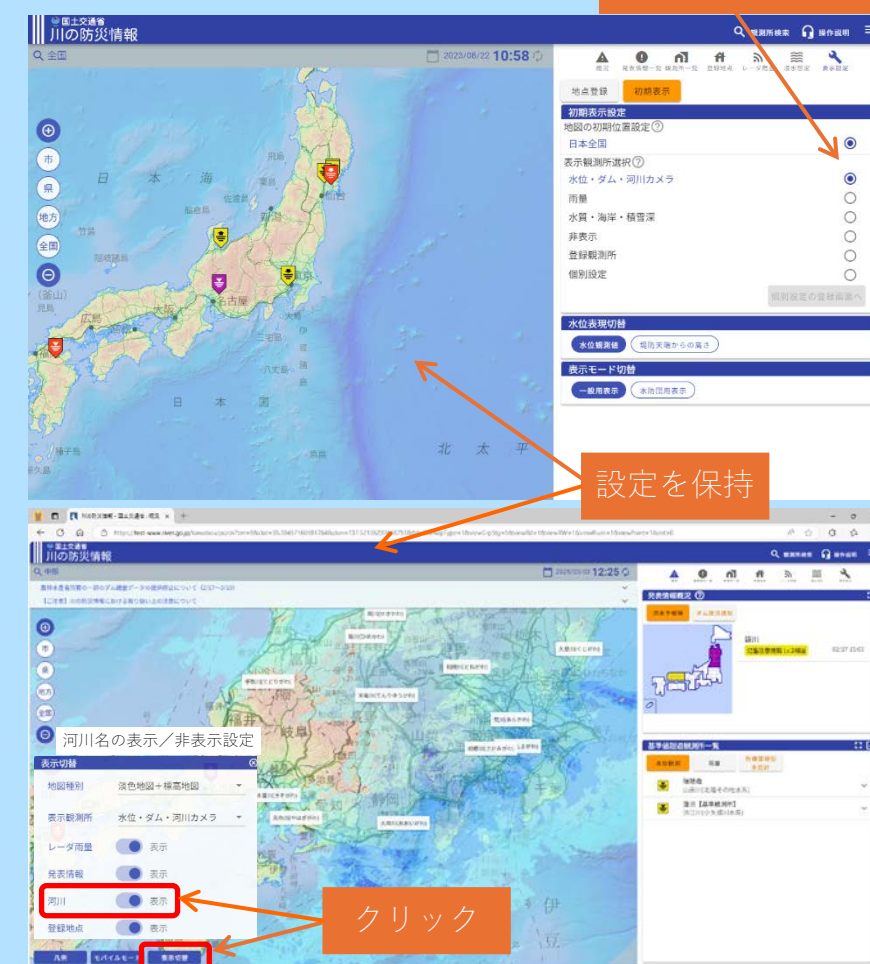
UI・操作性の改善

④前回アクセス時の設定を次回アクセス時に保持する機能

これまでは、前回アクセス時に設定した地図の種別＆観測所＆その他表示の設定を破棄し、デフォルト（単色地図等）設定で表示される仕様であった。



前回アクセス時の設定を保持して表示することができる。
(次回アクセス時)

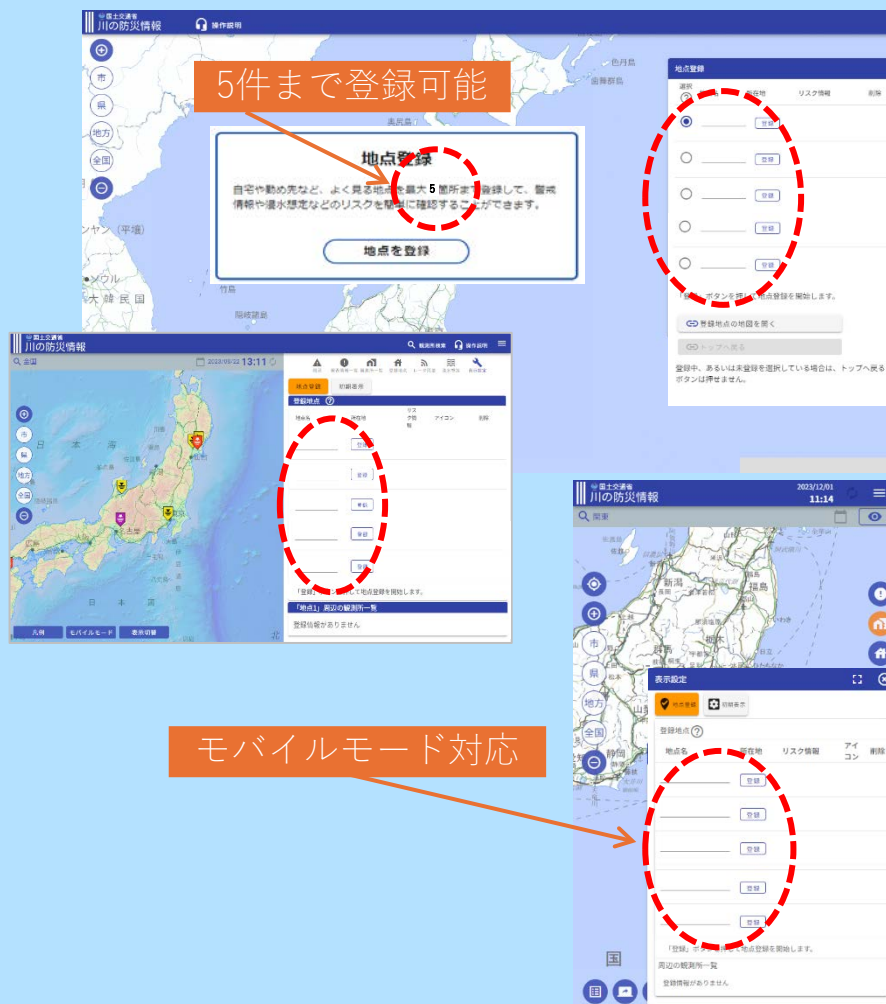
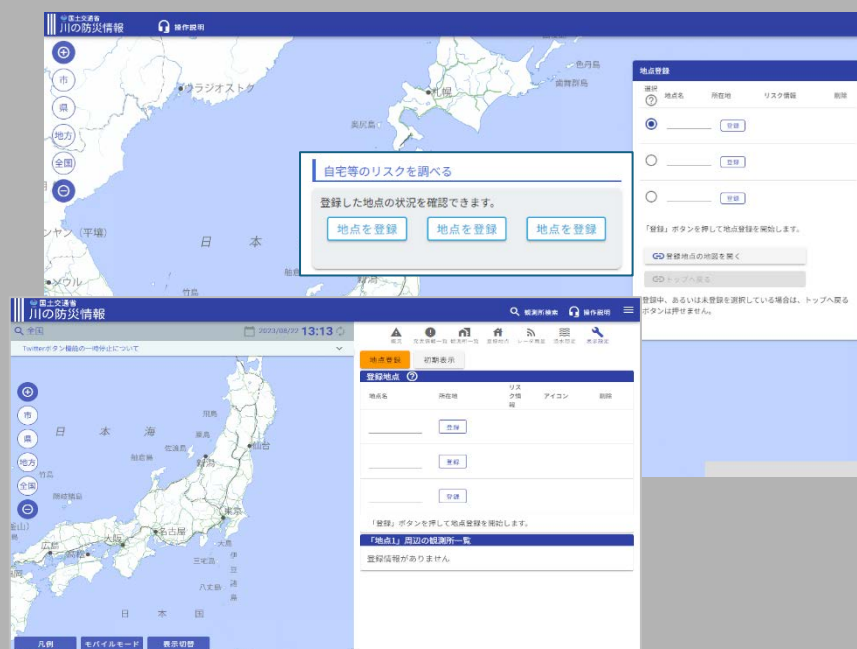


UI・操作性の改善

⑤登録可能地点数の増加(3か所⇒5か所)

これまでは、3箇所のみ登録できる仕様であった。

3箇所から5箇所に登録できる地点を増加した。



UI・操作性の改善

⑥情報の種類から選択するアイコンの見やすさの改善

これまでは、以下のとおりアイコンのデザインが直感的に分かりにくかった。



直感的に分かりやすいように、アイコンのデザインを一新し、選択しているコンテンツがわかりやすいように、クリックすると色が変わるように改善した。

見やすい大きさ

アイコンが大きい

クリックすると色が変わる

災害に備えるが追加

災害時に被害に合わないよう知っておいた方が
いい情報だと、一般の方
にも分かりやすい。



UI・操作性の改善

⑦他の関連サイトを選択するアイコンの見やすさ改善

これまでは、以下のとおりアイコンが列挙されていた。



直感的に分かりやすいように、アイコンの見やすさを改善するとともに、マウスのカーソルを合わせると色が変わるように改善した。

カーソルを合わせると色が変わる

枠や字が大きい

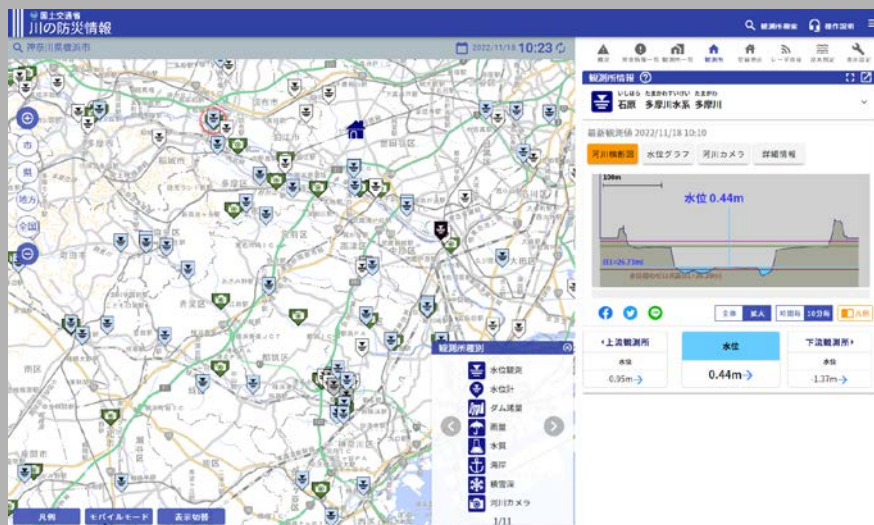


UI・操作性の改善

⑧水位観測所画面の見やすさの改善

これまでは、以下のとおり水位観測所画面が見にくかった。

選択表示しているものが分かりやすいようにボタンの色を変更するとともに、文字の見やすさを改善した。

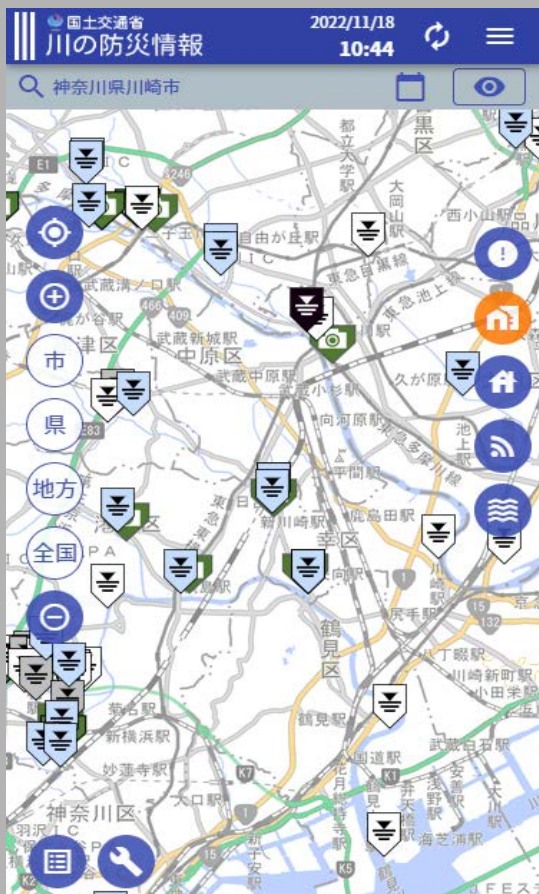


枠や字の色を変更

UI・操作性の改善

⑨スマホ画面のアイコンの分かりやすさの改善

これまでは、アイコン等がなく、直感的に使いにくかった。



直感的に分かりやすいように、アイコンのデザインを一新し、選択しているコンテンツが分かりやすいように、クリックすると色が変わるように改善

アイコンを追加

アイコンの機能文字を追加

場所を変更



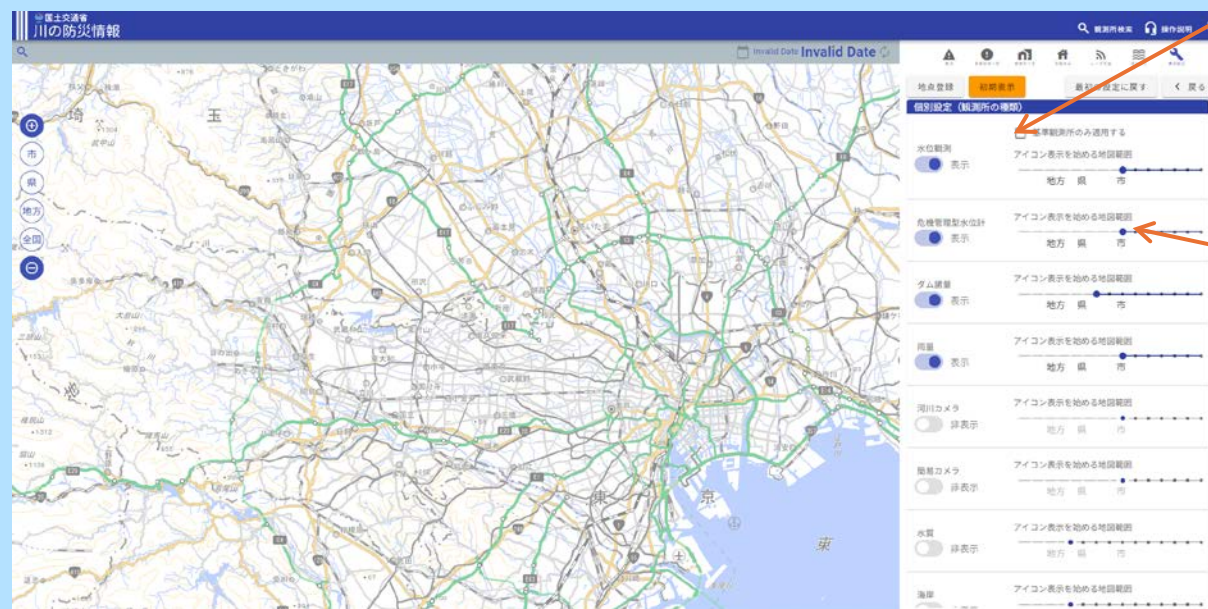
UI・操作性の改善

⑩地図アイコン表示タイミング設定

メディア等での放送で使いやすい表現を行う機能を追加

水位やカメラ、ダムなど自由に地図上にアイコンを表示するタイミングを設定する機能を追加し、放送画面で説明しやすくする。

(個別設定画面)



基準観測所のみ適用

- 設定したズームレベルを基準観測所のみに適用

表示開始ズームレベルの設定

- アイコンを地図上に表示するズームレベルを設定

UI・操作性の改善

⑪観測所ごとのお知らせ表示の改善



お知らせ情報が持つ情報区分によって、用いる色を変更

メンテナンスが実施(予定)されています

お知らせがあります



異常値の可能性がありますが



閉局のため、表示されません

欠測又は未受信で表示されません

UI・操作性の改善⑫

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室 → 地方整備局等

UI・操作性の改善

⑫観測所詳細画面から地図画面への画面遷移の追加



⑤ワンコイン浸水センサ実証実験

ワンコイン浸水センサ実証実験の参加者募集 ※詳細は別紙添付

参考資料 1

ワンコイン浸水センサ実証実験の概要

ポンプ設置のタイミングや通行可否の判断に
浸水センサを活用



実証実験参加自治体：秋田県秋田市
(令和6年7月9日 浸水状況)



実証実験参加自治体：埼玉県戸田市
(令和6年7月31日豪雨 浸水状況)

浸水発生時の迅速な判断・情報発信に役立つ
ワンコイン浸水センサ実証実験

～ 官民連携による流域の浸水状況把握 ～

POINT! 浸水情報をリアルタイムにホームページで公開しています。

国土交通省HP ワンコイン浸水センサ実証実験

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>



官民連携で浸水状況をリアルタイムで把握する仕組みを作っています

国・自治体・企業・大学など、流域内のあらゆる関係者が参加して実証実験を実施中！

官民連携による浸水域把握（活用のイメージ）



ワンコイン浸水センサ

小型、低コストかつ長寿命で、流域内に多数の設置が可能な浸水センサ



実証実験に用いている浸水センサ

リアルタイムの浸水状況表示システム

各センサの情報を一元に収集し、浸水状況を共有するシステム



浸水センサ表示システムのイメージ（広域&拡大）

ワンコイン浸水センサ実証実験参加者の声



A自治体

浸水センサを活用することで、浸水範囲や浸水深を早期に把握することが可能となるため、避難情報発令及び通行規制の判断や面的な被害状況の把握に繋がりたい。



B企業

急な浸水や内水氾濫をいち早く把握することで管理施設の被害防止・軽減、早期復旧に活用したい。

お問い合わせ先

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室
ワンコイン浸水センサ 担当
E-Mail : hqt-immersion-sensor@gxb.mlit.go.jp